



# 主要な農作物の生育情報

平成30年度 第3号

(平成30年6月8日)

福島県農林水産部農業振興課



## 【作物】

### 1 水稲

6月5日現在の農業総合センターの生育調査では、本部（郡山）と会津地域研究所（会津坂下）の茎数、主稈葉数が平年を下回っています。主稈葉数からみた生育は、本部（郡山）と会津地域研究所（会津坂下）で平年より3日遅れ、浜地域研究所（相馬）では平年より2日早まっています。

遅い田植えの水田では浅水管理にて有効茎の確保に努めましょう。

表1 水稲の生育状況（※）

調査場所	品 種	移植期 (月. 日)	6月5日調査			
			草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	主稈葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)
本 部	コシヒカリ	5.15	27.8 (116%)	171 (89%)	5.5 (-0.2)	- (-)
	ひとめぼれ	5.15	24.2 (108%)	198 (92%)	5.6 (-0.4)	- (-)
会津地域 研 究 所	コシヒカリ	5.21	28.2 (102%)	146 (82%)	5.4 (-0.8)	32.7 (0.7)
	ひとめぼれ	5.21	26.7 (102%)	175 (88%)	5.5 (-0.7)	34.7 (0.4)
浜 地 域 研 究 所	コシヒカリ	5.10	29.6 (107%)	304 (115%)	6.3 (0.4)	37.3 (3.7)
	ひとめぼれ	5.10	27.9 (104%)	383 (137%)	6.4 (0.3)	41.6 (3.1)

※ 調査場所は、本部（郡山）、会津地域研究所（会津坂下）、浜地域研究所（相馬）。

( ) 内の数字は、平年比較値を示す。

### 2 小麦（農業総合センターにおける生育状況）

各調査場所の出穂期は、概ね平年並となりました（平年差-1日から+2日）。登熟は概ね順調に進んでいます。成熟期は平年並からやや遅れる見込みです。

## 【野菜】

### 1 夏秋きゅうり

県中地方では定植が平年並の5月中旬から行われ、概ね平年並に生育しています。多くのほ場では、6月中下旬から収穫が始まる見込みです。

### 2 トマト

収穫は4月中旬定植の作型で平年並の6月上旬から開始しています。5月上旬定植の作型では、果実肥大は概ね良好で、6月中旬からの見込みとなっています。

南会津地方では、共同育苗の播種が平年並の4月上旬に行われ、定植は6月上旬から行われています。

### 3 さやいんげん

播種は平年並の4月中下旬に、定植は平年並の5月中下旬にかけて行われました。概ね順調に生育しており、6月中旬から収穫が始まる見込みです。

### 4 ピーマン

トンネル栽培の作型は、平年並の4月下旬頃から5月上旬にかけて定植され、収穫は平年並の6月上旬から始まりました。露地栽培は、5月中旬から下旬にかけて定植され、順調に生育しています。

## 5 春ブロッコリー

県南地方では、露地栽培は平年並みの3月中旬以降に開始し順調に生育しており、平年よりやや早い5月下旬に収穫ピークをむかえています。

### 【果 樹】（福島県農業総合センター果樹研究所における6月5日現在の生育概況）

#### 1 もも

果実肥大を暦日で比較すると、「あかつき」は縦径が平年比124%、側径が平年比128%と平年より大きく、「ゆうぞら」は縦径が平年比129%、側径が平年比141%と平年より大きい状況です。満開後日数による比較では、「あかつき」が平年よりやや小さく、「ゆうぞら」は平年より大きい状況です。

また、「あかつき」の今年の硬核期開始日は5月31日で平年より10日早くなりました。

#### 2 なし

果実肥大を暦日で比較すると、「幸水」は縦径が平年比128%、横径が平年比129%と平年より大きく、「豊水」は縦径が平年比119%、横径が平年比124%と平年より大きい状況です。満開後日数による比較では、「幸水」が平年より大きく、「豊水」はほぼ平年並です。

#### 3 りんご

果実肥大を暦日で比較すると、「つがる」は縦径が平年比131%、横径が平年比135%と平年より大きく、「ふじ」は縦径が平年比129%、横径が平年比139%と平年より大きい状況です。満開後日数による比較では、「つがる」、「ふじ」ともに平年より大きい状況です。

### 【花 き】

#### 1 キク類

8月咲きの定植は平年並の4月下旬に、9月咲きの定植は平年並の5月中旬から下旬にかけて行われ、摘心等の作業についても概ね順調に進んでいます。生育については草丈、葉数ともに平年をやや上回っています。

病虫害は、苗からの持ち込みにより白さび病やべと病の発生が散見されますが、被害の拡大は概ね抑えられています。また、アブラムシ類やハモグリバエ類、アザミウマ類の発生が増えてきています。

#### 2 リンドウ

春先から気温が高めに推移し、降水も適度であったため草丈、節数ともに平年よりも進んでいます。

病虫害では、葉枯病の発生が散見されますが、拡大は抑えられています。アザミウマ類やハダニ類の発生が増えてきており、特にハダニ類では中位葉まで拡大しているほ場もみられ、注意が必要です。

### 【飼料作物】

牧草は、5月上旬から1番草の収穫期を迎え、現在は山間部の一部地域で収穫が行われています。収量は平年並みですが、天候に恵まれ品質は良好となる見込みです。飼料用トウモロコシは、4月中旬から播種作業が行われ、順調に生育しています。

◎ 病虫害の発生状況や防除情報については、病虫害発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyohou>